平成３０年度

省エネルギー投資促進に向けた支援補助金
（エネルギー使用合理化等事業者支援事業）
Ⅱ.設備単位

設備別　省エネルギー量計算の手引き
【高効率照明】

平成３０年５月　１.０版

一般社団法人
環境共創イニシアチブ
Sustainable open Innovation Initiative

本手引きをご確認いただく前に

本手引きは、設備区分ごとの省エネルギー量計算方法の詳細について説明したものです。
本手引きをご覧いただく前に、**「交付申請の手引き」の「第1章 1-3 省エネルギー量計算について」及び「第4章 4-5 設備情報の登録～省エネルギー量計算の実施」**で、本事業における省エネルギー量の考え方や、既存設備・導入予定設備の計算条件、注意事項等をまずご確認ください。

尚、本手引きでは「高効率照明」の省エネルギー量計算について説明します。
当該設備と異なる設備については、該当の「設備別 省エネルギー量計算の手引き」をご覧ください。

補助対象設備の範囲と基準値

以下の基準値を満たす設備が補助対象です。「その他注意事項」も含め補助対象設備であるか、事前にご確認ください。

高効率照明

➢ 対象範囲

種別	対象範囲
1-1.LED照明器具	灯具、光源、電源、レンズ、ルーバー、カバー・枠、ガード、取付具、リニューアルプレート、リモコン（コントローラ・調光器・人感センサー含む）
1-2.LEDダウンライト	
1-3.LED高天井用器具	
1-4.LED投光器	
1-5.LED防犯灯	

＜備考＞

工事を伴わない管球のみの交換は対象外とする。専用型非常用照明器具・誘導灯（階段通路誘導灯は除く）は対象外とする。

➢ 対象設備の基準値

種別	性能区分	基準値（両方を満たすこと）	
		固有エネルギー消費効率	演色性
1-1.LED照明器具（下記1-2、1-3、1-4、1-5を除く）	昼光色・昼白色・白色	120lm/W以上	Ra80以上
	温白色・電球色	85lm/W以上	Ra80以上
1-2.LEDダウンライト（埋込穴300mm以下） ※「ダウンライト」とは、JIS Z 8113: 1998「照明用語」に規定されるダウンライトをいう。	昼光色・昼白色・白色	95lm/W以上	Ra70以上
	温白色・電球色	80lm/W以上	Ra70以上
1-3.LED高天井用器具（定格光束11,000lm以上） ※「高天井用器具」とは、JIS Z 8113: 1998 「照明用語」に規定される天井灯のうち、定格光束11,000lm以上のものをいう。	昼光色・昼白色・白色	130lm/W以上	Ra70以上
	温白色・電球色	85lm/W以上	Ra70以上
1-4.LED投光器	昼光色・昼白色・白色	105lm/W以上	Ra70以上
	温白色・電球色	90lm/W以上	Ra70以上
1-5. LED防犯灯	昼光色・昼白色・白色 温白色・電球色	80lm/W以上	Ra70以上

＜備考＞

1.LEDモジュール寿命は40,000時間以上であること。
2.性能区分に示す「光源色」は、JIS Z 9112（蛍光ランプ・LED の光源色及び演色性による区分）に規定する光源色の区分に準ずるものとする。
3.昼光色、昼白色、白色、温白色及び電球色以外の光を発するものは、本項の「高効率照明」に含まない。
4.無電極照明器具は、上記基準のいずれかを満たす場合は補助対象とする。

■その他の注意事項

・光源色を複数もつLEDは、最大消費電力を示す光源色に対する基準を満たすこと。
・11,000 lm未満のLED高天井用器具は、「LED照明器具」の基準を満たすこと。
・11,000 lm以上のLED照明器具は、「LED高天井用器具」の基準を満たすこと。
※ LED投光器については、lmに関わらず「LED投光器」の基準値を満たすこと。
・直管形LEDランプも、「LED照明器具」の基準を満たしていれば補助対象とする。
※ 既存の照明器具にG13直管LEDランプを使用する場合は、照明器具とLEDランプの組み合わせを間違えると火災等の問題が生じる可能性があるため、組み合わせには十分注意すること。

計算方法の検討

■高効率照明の指定計算に関する基本的な考え方について

- **既存設備のエネルギー使用量**
  種別、種類・灯数から推定した定格消費電力(W)と、稼働時間(h)を用いて算出します。

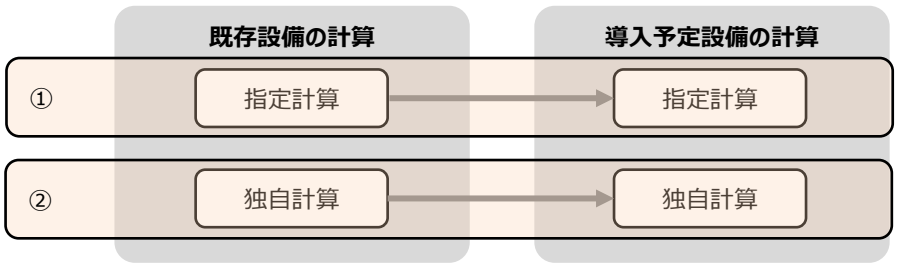
- **導入予定設備のエネルギー使用量**
  定格消費電力(W)と稼働時間(h)を用いて算出します。

■計算方法（指定計算／独自計算）の選び方

下表の選択基準の内容を参考に、計算方法を選択してください。

計算方法	選択基準	計算に関わるポータル入力項目	
指定計算	• SIIが設定する計算式を使用 • 稼働時間は、平均的な「1日あたりの運転時間」「1ヶ月あたりの運転日数」を通年で同一とみなして算出 • 既存設備の定格消費電力は、種別、種類・灯数から推定 • 導入予定設備の性能値は、カタログ・仕様書記載の値を使用	既存設備	• 種類・灯数等 • 稼働時間
		導入予定設備	• 定格消費電力
独自計算	• 上記以外の独自の計算方法を使用する場合 ※ 計算手順及び用いた値の根拠を示す証憑の提出が必要 ※ 独自計算の詳細は、別冊「設備別 省エネルギー量計算の手引き 独自計算（全設備区分共通）」を参照	既存設備	• 月別電力使用量
		導入予定設備	

※ 既存設備と導入予定設備で、異なる計算方法を用いることはできません（以下①②のみ選択可能です）。



■計算時の注意事項

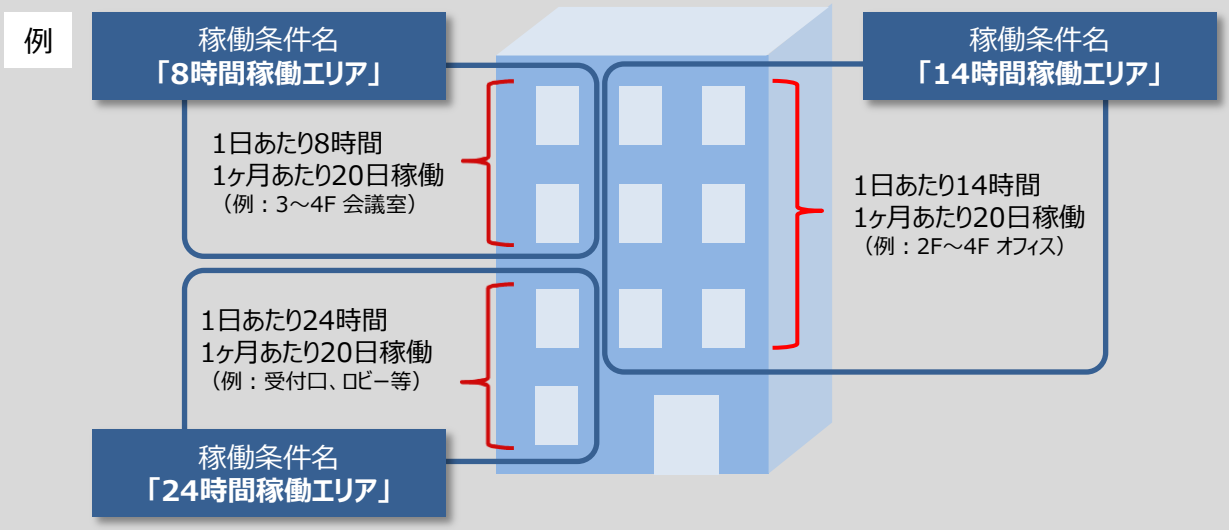
- 稼働時間は、計算方法に関わらず「設備の更新前後で同じ」という前提で計算してください。
- 光色を調整できるタイプの定格消費電力は、最大値を用いて計算してください。
- 独自計算を用いた場合でも、調光制御や人感センサーによる消灯分を省エネルギー量として計算することはできません。

計算方法の検討

■稼働条件について

- 省エネルギー量計算で使用する「稼働時間」「負荷率」等、設定する条件を「稼働条件」と呼びます。
- 高効率照明では「運転時間」のみを稼働条件として設定します。
- 既存設備、導入予定設備の稼働条件は同一として計算を行い、エネルギー使用量を比較します。

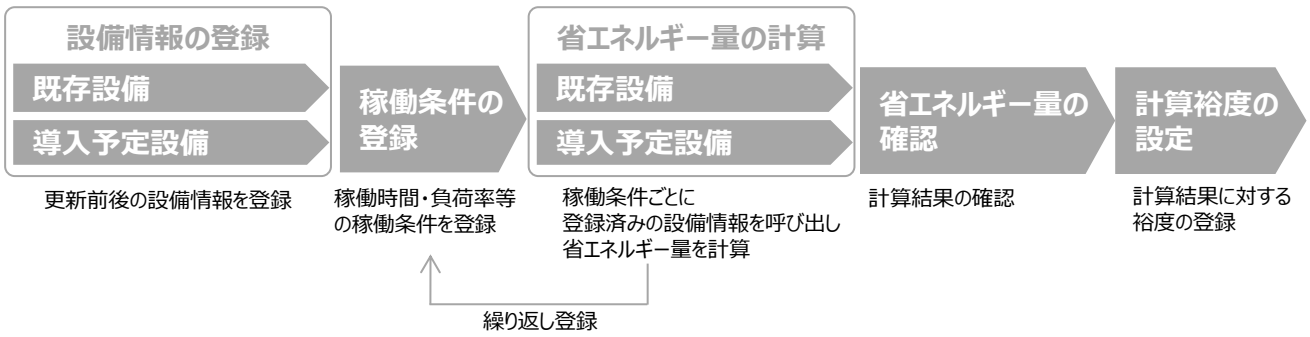
- **稼働条件は、フロアや部屋ごとに細かく登録する必要はありません。**
- **稼働条件名は、任意設定です。登録する稼働時間・稼働日数の判別がつく名称としてください。**



計算方法の検討

■省エネルギー量計算に関わる情報　入力の流れ

省エネルギー量計算に関わる情報は以下の流れで登録します。
※「交付申請の手引き」では「第4章 4-5 設備情報の登録～省エネルギー量計算の実施」において、省エネルギー量計算の概要を説明しています。



■設備情報を入力する前の準備

設備の導入台数が多い場合、既存設備、及び導入予定設備の情報を正しく登録するために、事前に下例のような一覧表を作成することを推奨します。
（交付決定後の中間報告、実績報告にも活用することができます。）

※ 一覧表を用いてポータル登録した場合は、申請書類に添付してください。
（一覧表は自由書式ですが、ＳＩＩのホームページから一覧表のサンプルをダウンロードできます。）

＜一覧表の例＞

既存設備と導入予定設備の比較表（高効率照明）

高効率照明

既存設備とその更新設備として導入する導入予定設備の組み合わせを、表形式（＝比較表）で示してください。

＜注意事項＞
1. 更新前後の設備の組み合わせがわかるよう、1つのNoで1つの組み合わせを示してください。
また、組み合わせが複数行にまたがる場合は、Noは最初の行のみに入力してください。
2. 申請する設備区分が複数ある場合は、設備区分ごとに比較表を作成してください。

No	稼働条件	既存設備(能力①＝全光束)					①×②:③	導入予定設備(能力④＝全光束)					④×⑤:⑥	備考	
		製品名	型番	能力:①	単位	台数:②		製品名	型番	能力:④	単位	台数:⑤		⑥－③	設置場所等
1	1日8時間稼働エリア	直管蛍光ランプ	AASL-FHF32	3300.0	lm	3	9900.0	LEDシーリング	ABC100LE5	3300.0	lm	3	9900.0	0.0	フロア1F
2	1日12時間稼働エリア	スポットライト	ABBL-Hf2	1240.0	lm	11	13640.0	LEDスポットライト	ABC310LS-WE	1300.0	lm	11	14300.0	660.0	フロア2F
3	1日12時間稼働エリア	ダウンライト	AFKL-Hf1	3380.0	lm	15	50700.0	LEDダウンライトS	DFG520DL-S	3400.0	lm	9	30600.0	300.0	フロア2F
								LEDダウンライトM	DFG520DL-M	3300.0	lm	6	19800.0		
4	1日5時間稼働エリア	A直管蛍光ランプ	ADL-FHT1	1460.0	lm	15	21900.0	LEDベースライト	HIJ703BL-YW	1400.0	lm	25	35000.0		会議室1F
		B直管蛍光ランプ	BDL-FHT1	1240.0	lm	5	6200.0							-100.0	
		C直管蛍光ランプ	CDL-FHT1	1360.0	lm	5	6800.0								
					計	54	109140.0		計			54	109600.0	860.0	

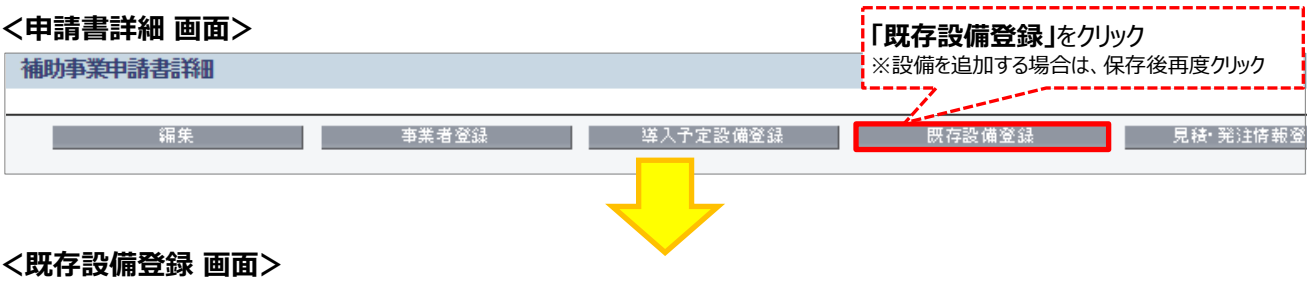
既存設備の登録

設備情報の登録
既存設備
導入予定設備
→ 稼働条件の登録
→ 省エネルギー量の計算
既存設備
導入予定設備
→ 省エネルギー量の確認
→ 計算裕度の設定

■既存設備情報の登録

「既存設備登録 画面」の項目を示します。
既存設備の定格消費電力は、種類・灯数を選択することで自動設定されます（巻末のデータ表を参照）。

＜申請書詳細 画面＞



＜既存設備登録 画面＞

既存設備の登録

下表の説明を参考に、既存設備情報を入力します。

※ 英数字は半角で入力すること

No.	項目名	入力方法	説明	備考
1	設備区分	プルダウン	「高効率照明」を選択する。	
2	種別	プルダウン	既存設備の種別を選択する。	指定計算では「その他照明設備」を選択しないこと（省エネ計算一括登録画面で選択できないため）。
3	メーカー	手入力	既存設備の灯具本体の製造メーカー名を入力する。	確認が困難な場合は空欄でもよい。
4	製品名	手入力	既存設備の灯具本体の製品名を入力する。	省エネルギー量計算時にここで登録した「製品名/型番」を選択するため、対象設備が判別できるように入力すること。 製品名・型番の確認が困難な場合は 8 「種類・灯数」等の判別可能な情報を入力すること。
5	型番	手入力	既存設備の灯具本体の製品型番を入力する。	
6	台数	手入力	既存設備の台数を入力する。	
7	設置年	プルダウン	固定資産台帳に記載されている、既存設備の設置年（取得年）を選択する。	不明な場合は、設備を設置した建物が登記された年（不動産登記簿【権利部（甲区）】に記載）を入力する。
8	種類・灯数等	プルダウン	既存設備の種類・灯数を選択する。	
9	定格消費電力	自動表示	選択した 2 と 8 の組み合わせで、定格消費電力が自動設定される。	※ 定格消費電力の数値については巻末の「使用データ」を参照すること。

導入予定設備の登録

■導入予定設備の登録

「導入予定設備登録 画面」とその入力項目を示します。入手した見積、及び当該設備のカタログ・仕様書を確認し、型番や台数等に誤りがないように入力してください。

<補助事業申請書詳細 画面>

「導入予定設備登録」をクリック
※設備を追加する場合は、保存後再度クリック

<導入予定設備登録 画面>

1 と 2 の入力後**「確定」**をクリック

「型番マスタ検索」をクリック

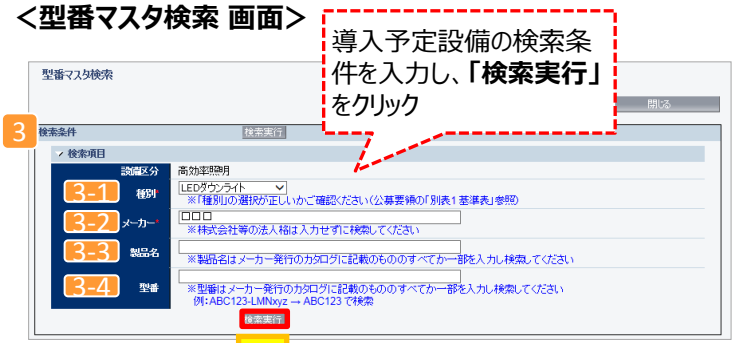
1 設備区分
「高効率照明」を選択する。

2 種別
対象設備の基準値を参考に、導入予定設備の種別を選択する。
- 選択間違いがないよう、P.2「その他の注意事項」を確認すること。
- 不明な場合は製造メーカー等に確認し、正しい種別を選択すること。

<型番マスタの利用について>
導入予定設備の登録は、まず「型番マスタ」を検索し、該当の設備があった場合はそこから選択する方法で行ってください。
検索結果に導入したい設備が表示されない場合は、以下の各項目を参考にしてください。

- **公募要領Ｐ.53以降「別表１ 補助対象設備区分と設備区分毎に定める基準表」を確認し、当該設備が本事業の申請基準を満たしているか確認してください。**
- **基準を満たしている場合は、型番の枝番部分を削除する等、検索条件を変更して、再度検索してください。**
  [例] カタログ表記の型番が「ABC1000-005」の場合、型番の一部分(「ABC1000」、「ABC」等）で検索する等）
  （検索結果の型番内"■"は、性能値や能力値に影響のない枝番等に該当する任意の文字として扱われます。）
- **検索結果に導入予定設備の型番が複数表示された場合は、製品名や型番の（）内に表記された諸条件を確認し、導入予定設備の仕様と一致している設備を選択してください。**

<型番マスタ検索 画面>



導入予定設備の検索条件を入力し、**「検索実行」**をクリック

3-1 種別（必須）
- 公募要領の「別表1 基準表」参照し正しく選択しているか確認してください。

3-2 メーカー（必須）
- 法人格は入力せずに検索してください。

3-3 製品名（任意）
- メーカー発行のカタログに記載された製品名のすべて又は一部を入力して検索してください。

3-4 型番（任意）
- メーカー発行のカタログに記載された型番のすべて又は一部を入力して検索してください。

[例] ABC123-LMNxyz → ABC123 で検索

次ページへ続く

導入予定設備の登録

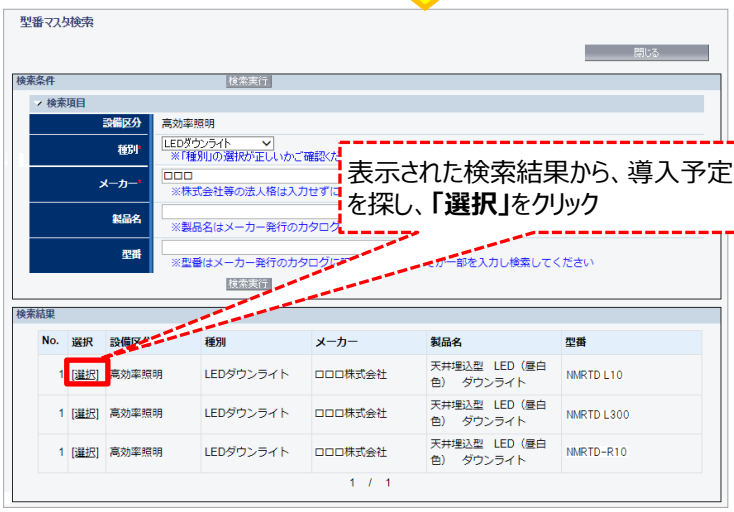
設備情報の登録
- 既存設備
- 導入予定設備

→ 稼働条件の登録 → 省エネルギー量の計算
- 既存設備
- 導入予定設備

→ 省エネルギー量の確認 → 計算裕度の設定

前ページより

<型番マスタ検索 画面>



表示された検索結果から、導入予定設備を探し、**「選択」**をクリック

<導入予定設備詳細 画面>

検索結果で**「選択」**した製品情報が自動入力されていることを確認

※型番マスタに登録されている設備情報が自動反映されますので、入力は不要です（4-10 **台数は、必ず入力してください**）。

入力後**「保存」**をクリック

導入予定設備の登録

下表の説明を参考に、導入予定設備情報を入力します（**型番マスタを使用した場合**）。

※ 英数字は半角で入力すること

項目	No.	項目名	入力方法	説明
4 設備情報	4-1	メーカー	自動表示	「型番マスタ検索」による選択結果に応じて、表示される。
	4-2	製品名	自動表示	
	4-3	型番	自動表示	
	4-4	型番(灯具)	自動表示	
	4-5	型番(光源)	自動表示	
	4-6	型番(電源)	自動表示	
	4-7	型番(レンズ)	自動表示	
	4-8	型番(カバー・枠)	自動表示	
	4-9	一体型フラグ	自動表示	
	4-10	台数	**手入力**	当該型番の導入予定台数を入力する。 ※ 誤入力がないように「見積書」と台数の一致を確認すること。
5 基準要件	5-1	性能区分	自動表示	「型番マスタ検索」による選択結果に応じて、表示される。
	5-2	基準値1	自動表示	
	5-3	性能値1	自動表示	
	5-4	基準値2	自動表示	
	5-5	性能値2	自動表示	
	5-6	備考	自動表示	
6 その他仕様	6-1	定格消費電力（W）	自動表示	「型番マスタ検索」による選択結果に応じて、表示される。
	6-2	全光束（lm）		

検索結果に導入予定設備が表示されない、又は検索結果がない旨のメッセージが表示された場合は、以下の各項目を確認のうえ、再検索をお試しください。

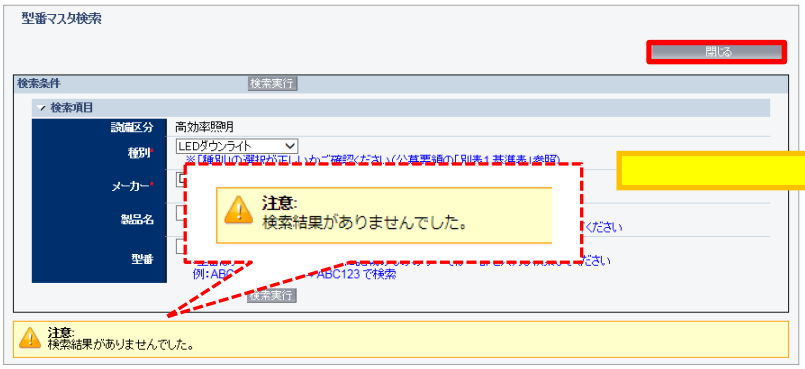
- **「種別」の選択が正しいか、確認してください（公募要領Ｐ.53以降の「別表1」参照）。**
- **「型番」の入力誤りがないか、確認してください。**
  （文字数の多い型番の場合は、全型番を入力しなくても検索は可能です　例：ABC123-LMNxyz → ABC123 で検索する等）

導入予定設備の登録

設備情報の登録（既存設備／導入予定設備） → 稼働条件の登録 → 省エネルギー量の計算（既存設備／導入予定設備） → 省エネルギー量の確認 → 計算裕度の設定

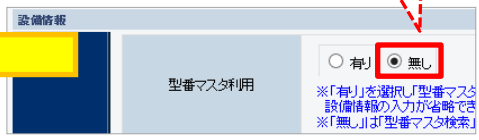
● **型番マスタに導入予定設備の登録がない場合**
検索条件を変更しても検索結果に導入予定設備が表示されない、又は検索結果がない旨のメッセージが表示された場合は、画面右上の「閉じる」をクリックして「導入予定設備登録 画面」に戻り、**手入力**で設備情報を登録してください。

＜型番マスタ検索 画面＞



「導入予定設備登録 画面」の「型番マスタ利用」を「無し」に変更

＜導入予定設備登録 画面＞



＜導入予定設備登録 画面＞

導入予定設備のカタログ・仕様書等を見ながら、設備情報を**手入力**

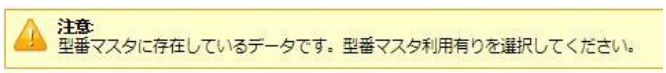
5-2 ～ 5-4 は、 5-1 で選択した区分に応じた内容を表示

導入予定設備のカタログ・仕様書等を見ながら、設備情報を**手入力**

型番・仕様等を手入力した場合は、カタログ・仕様書等を必ず申請書類に添付してください。

入力後**「保存」**をクリック

＜「保存」クリック時に下のメッセージが表示された場合＞



「保存」をクリック時に、上記メッセージが表示された場合は、画面上部の「型番マスタ利用」を「無し」から「有り」へ変更し、型番マスタ検索にて設備を再登録してください。
※ 「型番マスタ利用」を変更すると、手入力していたデータは消去されます。型番の文字列をコピーしてから「有り」をクリックすることをお勧めします。

導入予定設備の登録

下表の説明を参考に、導入予定設備情報を入力します（**型番マスタを使用しない場合**）。

入力した導入予定設備の情報は、証憑書類（カタログ・仕様書等）の該当する箇所に蛍光マーカー等で印をつけ、転記した箇所がわかるようにしてください。

※ 英数字は半角で入力すること

項目	No.	項目名	入力方法	説明
4 設備情報	4-1	メーカー	**手入力**	導入予定設備のメーカー名を入力する。
	4-2	製品名	**手入力**	導入予定設備の製品名を入力する。
	4-3	型番	**手入力**	製品カタログ・仕様書を見ながら、導入予定設備の型番を入力する。 ※アルファベット、数値等の誤入力がないように確認すること。 ※「電源」「レンズ」「カバー・枠」はカタログ等から読み取ることが出来る場合のみ、入力すること。 「型番」「型番(灯具)」「型番(光源)」の入力方法は、次頁の説明に従うこと。
	4-4	型番(灯具)	**手入力**	
	4-5	型番(光源)	**手入力**	
	4-6	型番(電源)	**手入力**	
	4-7	型番(レンズ)	**手入力**	
	4-8	型番(カバー・枠)	**手入力**	
	4-9	一体型フラグ	**手入力**	灯具と光源が構造上一体となっていて、灯具・光源一体としての型番しかない場合（灯具・光源それぞれの型番がない）のみチェックを入れる。
	4-10	台数	**手入力**	当該型番の導入予定台数を入力する。 ※ 誤入力がないように「見積書」と台数の一致を確認すること。
5 基準要件	5-1	性能区分	プルダウン	対象設備の基準値（P.2）を参考に、導入予定設備の性能区分を選択する。
	5-2	基準値1	自動表示	上記「性能区分」の選択結果に応じて、基準値が表示される。
	5-3	性能値1	自動表示	6-1 定格消費電力、6-2 全光束を入力し「保存」をクリックすると、入力結果から性能値 (lm/W)が自動計算される。（全光束(lm)÷定格消費電力(W)）
	5-4	基準値2	自動表示	上記「性能区分」の選択結果に応じて、基準値が表示される。
	5-5	性能値2	**手入力**	製品カタログ・仕様書を見ながら、導入予定設備の演色性(Ra)を転記する。 ※カタログに光源色の記載が無い場合は、P.26「光源色の区分と相関色温度の分類」参照
	5-6	備考	**手入力**	必要に応じて入力する。（原則、入力不要）
6 その他仕様	6-1	定格消費電力（W）	**手入力**	製品カタログ・仕様書を見ながら、導入予定設備の定格消費電力(W)を転記する。 ※灯具・光源を組み合わせた時の値を入力すること。
	6-2	全光束（lm）	**手入力**	製品カタログ・仕様書を見ながら、導入予定設備の全光束(lm)を転記する。 ※灯具・光源を組み合わせた時の値を入力すること。 無電極ランプのカタログ・仕様書等に「有効光束密度(Plm)」が併記されている場合があるが、「全光束(lm)」を入力すること。

導入予定設備の登録

■ 型番の入力について（型番／型番(灯具)／型番(光源)の入力説明）

照明設備の型番構成は製品により異なります。カタログを確認し、その型番構成に合わせて下記の通り入力してください。
（入力項目…前頁「 4-3 ～ 4-5 」）

① 代表的な構成 ― セット型番(組合せ型番)あり／灯具・光源それぞれの型番あり

カタログ

LEDベースライト
セット型番（組合せ型番）
ABC-540NCN7
4550lm・32.5w・140.0lm/w
灯具本体　EFG5000
光源　EFG5001CN7

→

ポータル入力

型番	ABC-540NCN7	→セット型番を入力
型番(灯具)	EFG5000	→灯具の型番を入力
型番(光源)	EFG5001CN7	→光源の型番を入力

② セット型番(組合せ型番)なし／灯具・光源それぞれの型番あり

カタログ

LEDダウンライト
灯具本体　EFG5000
光源　EFG5001CN7
4550lm・32.5w・140.0lm/w

→

ポータル入力

型番	EFG5000+EFG5001CN7	→灯具と光源の型番を「＋」でつなぐ
型番(灯具)	EFG5000	→灯具の型番を入力
型番(光源)	EFG5001CN7	→光源の型番を入力

③ 灯具と光源一体とした型番のみ ― 灯具・光源それぞれの型番なし

カタログ

LEDダウンライト
ABC-540NCN7
●昼白色（相関色温度　5000K）
9420lm・72.0w・130.8lm/w

→

ポータル入力

型番	ABC-540NCN7	→灯具と光源一体とした型番を入力
型番(灯具)		→入力不要
型番(光源)		→入力不要

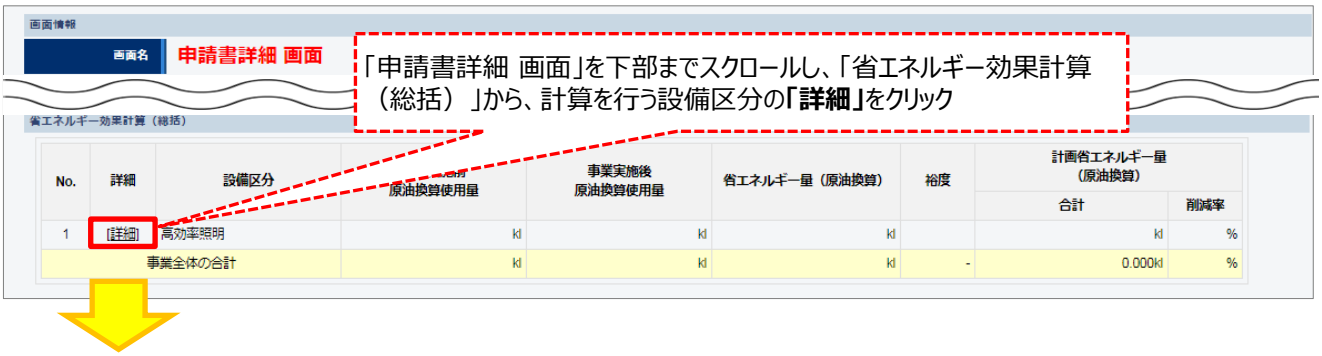
稼働条件の登録

設備情報の登録（既存設備／導入予定設備） → **稼働条件の登録** → 省エネルギー量の計算（既存設備／導入予定設備） → 省エネルギー量の確認 → 計算裕度の設定

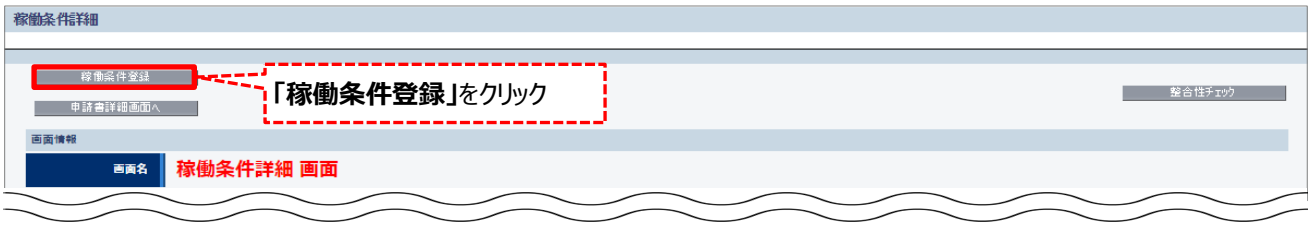
■稼働条件の登録

省エネルギー量計算に使用する稼働条件を登録します（P.4「稼働条件について」参照）。

＜申請書詳細 画面＞



＜稼働条件詳細 画面＞



＜稼働条件登録 画面＞

「**稼働条件追加**」をクリックして入力欄を表示

入力後「**保存**」をクリック

「削除選択」にチェックを入れて保存すると、対象の稼働条件が削除されます

稼働条件の登録

下表の説明を参考に、計算時に使用する稼働条件を登録します。

No.	項目名	入力方法	説明	備考
1	計算方法	プルダウン	「指定計算」を選択する。	
2	稼働条件名	**手入力**	稼働条件ごとに識別用の名称を設定する。 ※ フロアや部屋の違いに関わらず、稼働条件が同じであれば、同じ「稼働条件」で登録する。 例）8時間稼働エリア　等	
3	1日あたりの運転時間	**手入力**	年間を通じて平均的な1日あたりの運転時間（ｈ）を入力する。 ※ 単位は、小数点2桁で入力可	例）7時間15分：7.25 7時間30分：7.5 7時間45分：7.75
4	1ヶ月あたりの運転日数	**手入力**	年間を通じて平均的な1ヶ月あたりの運転日数を入力する。	

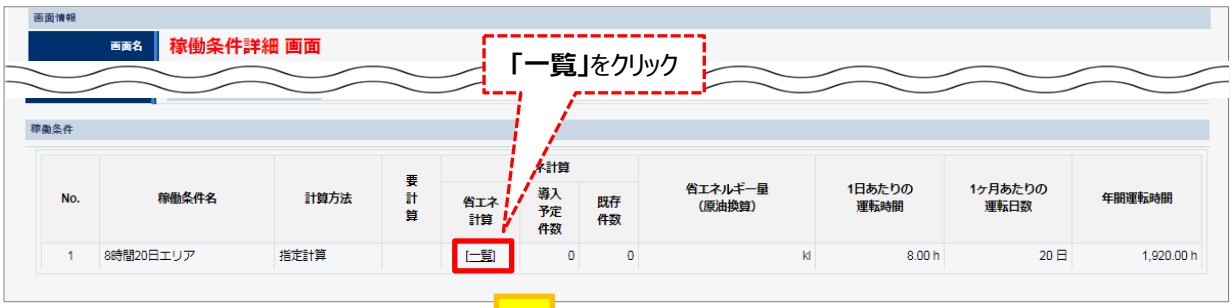
省エネルギー量の計算

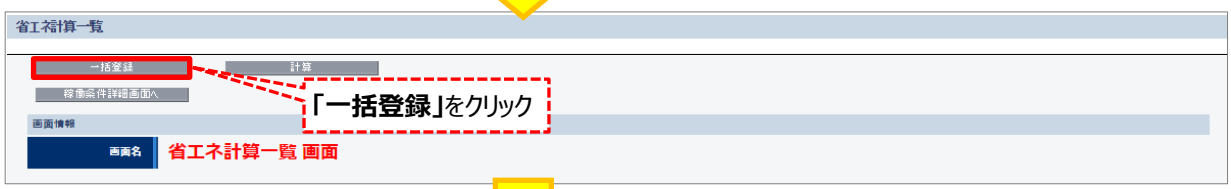
設備情報の登録（既存設備／導入予定設備） → 稼働条件の登録 → 省エネルギー量の計算（既存設備／導入予定設備） → 省エネルギー量の確認 → 計算裕度の設定

■既存設備・導入予定設備のエネルギー使用量の計算

あらかじめ登録した既存設備・導入予定設備の情報を参照し、エネルギー使用量を計算します。
稼働条件ごとに該当する設備情報を呼び出し、台数を入力することで自動計算されます。

＜稼働条件詳細 画面＞





＜省エネ計算一括登録 画面＞

省エネルギー量の計算

下表の説明を参考に、既存設備・導入予定設備の計算に必要な項目を入力し、エネルギー使用量を計算します。

No.	項目名	入力方法	説明	備考
1	種別	プルダウン	既存設備・導入予定設備の種別を選択する。	設備登録画面で登録した情報がプルダウン選択肢として表示される。
2	製品名/型番	プルダウン	事前に登録した既存設備・導入予定設備の「製品名/型番」から選択する。	
3	台数	**手入力**	2 で選択した「製品名/型番」の既存設備・導入予定設備の台数を入力する。	

＜参考＞ 登録情報を更新した場合の再計算方法

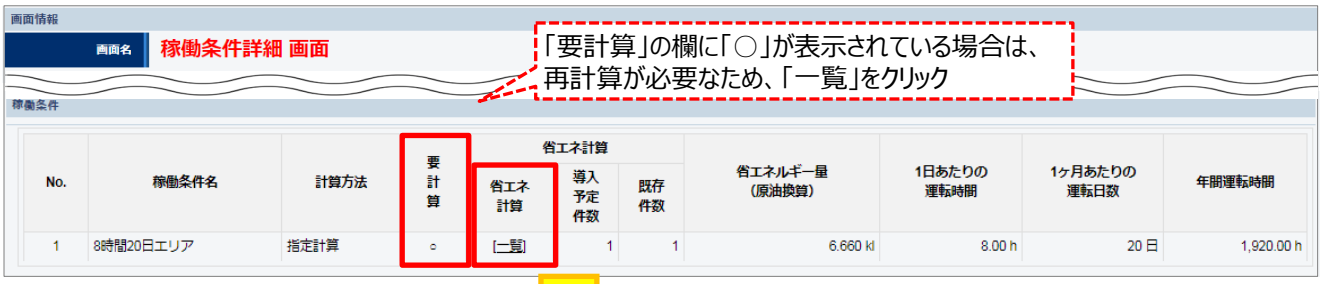
補助事業ポータルでは、以下の順番で情報の登録を進めていきます。「設備情報」「稼働条件」の情報に基づき、「既存設備」と「導入予定設備」のエネルギー使用量が自動で計算されます。万が一「エネルギー使用量の計算」を行った後に、省エネルギー量計算に影響のある情報の更新を行った場合には、再計算を行う必要があります。
※情報の登録を行う際は、製品カタログや仕様書等を準備の上、入力間違いがないよう注意してください。

設備情報の登録（既存設備／導入予定設備） → 稼働条件の登録 → 省エネルギー量の計算（既存設備／導入予定設備） → 省エネルギー量の確認 → 計算裕度の設定

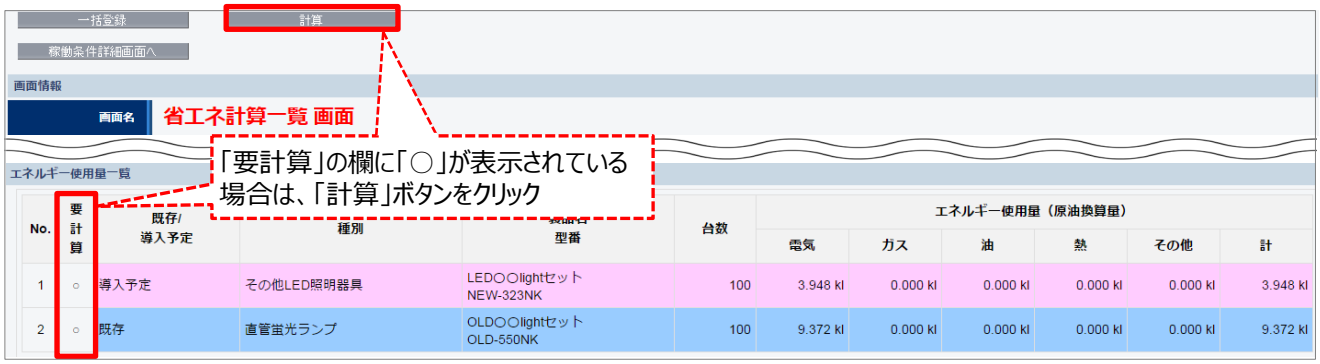
省エネルギー量計算後に、省エネルギー量計算に影響のある情報を更新した場合は再計算を行ってください。
※ 再計算を行わなかった場合は、エラーが表示され申請書の入力完了ができません。

■再計算手順

手順１.＜稼働条件詳細 画面＞



手順２.＜省エネ計算一覧 画面＞



手順３.＜省エネ計算一覧 画面＞

省エネルギー量の確認

設備情報の登録（既存設備／導入予定設備） → 稼働条件の登録 → 省エネルギー量の計算（既存設備／導入予定設備） → **省エネルギー量の確認** → 計算裕度の設定

■登録情報の確認

「申請書詳細 画面」の「既存設備一覧」「導入設備一覧」で、既存設備・導入予定設備の登録漏れが無いかを確認してください。

＜申請書詳細 画面＞

導入予定設備一覧

No.	詳細	設備区分	種別	メーカー	製品名	型番	台数
1	詳細	高効率照明	LEDダウンライト	□□□株式会社	天井埋込型 LED（昼白色） ダウンライト	NMRTD L10	100

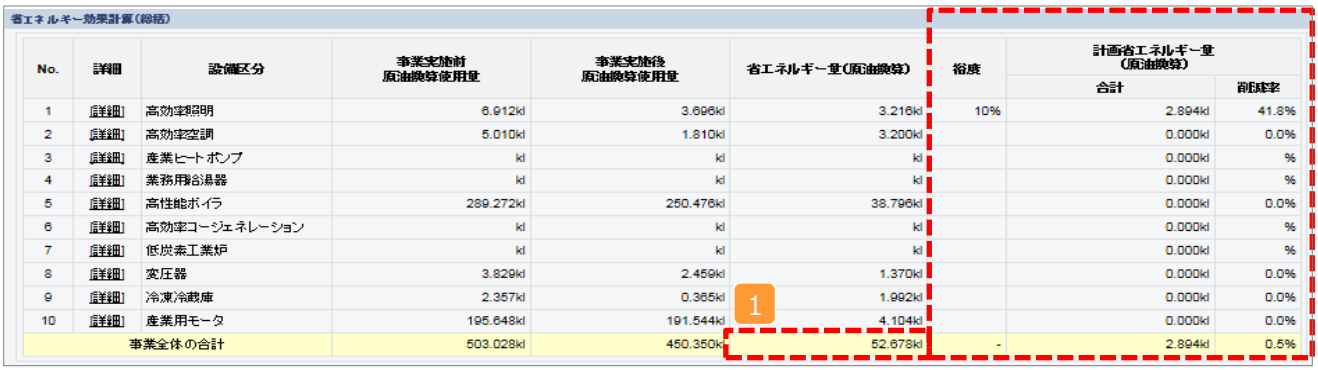
既存設備一覧

No.	詳細	設備区分	種別	メーカー	製品名	型番	台数
1	詳細	高効率照明	直管蛍光ランプ	○○○株式会社	OLD○○lightセット	OLD-550NK	100

■事業全体での省エネルギー量の確認

計算された省エネルギー量の算出結果を確認します。
申請する補助事業の省エネルギー量を必ず確認してください。

＜申請書詳細　画面＞-＜省エネルギー量計算(総括)＞



省エネルギー効果計算（総括）

No.	詳細	設備区分	事業実施前 原油換算使用量	事業実施後 原油換算使用量	省エネルギー量(原油換算)	裕度	計画省エネルギー量(原油換算) 合計	計画省エネルギー量(原油換算) 削減率
1	詳細	高効率照明	6.912kl	3.696kl	3.216kl	10%	2.894kl	41.8%
2	詳細	高効率空調	5.010kl	1.810kl	3.200kl		0.000kl	0.0%
3	詳細	産業ヒートポンプ	kl	kl	kl		0.000kl	%
4	詳細	業務用給湯器	kl	kl	kl		0.000kl	%
5	詳細	高性能ボイラ	289.272kl	250.476kl	38.796kl		0.000kl	0.0%
6	詳細	高効率コージェネレーション	kl	kl	kl		0.000kl	%
7	詳細	低炭素工業炉	kl	kl	kl		0.000kl	%
8	詳細	変圧器	3.829kl	2.459kl	1.370kl		0.000kl	0.0%
9	詳細	冷凍冷蔵庫	2.357kl	0.365kl	1.992kl		0.000kl	0.0%
10	詳細	産業用モータ	195.648kl	191.544kl	4.104kl		0.000kl	0.0%
事業全体の合計			503.028kl	450.350kl	52.678kl	-	2.894kl	0.5%

1

マイナスの値は不可

裕度が加味された合計値が表示される

※事業全体の省エネルギー量の合計(1)が「０」またはマイナスの値となる場合は、省エネルギー量を得られていないため、交付申請を行うことができませんのでご注意ください。

計算裕度の設定

設備情報の登録（既存設備／導入予定設備） → 稼働条件の登録 → 省エネルギー量の計算（既存設備／導入予定設備） → 省エネルギー量の確認 → **計算裕度の設定**

■計算裕度の設定

設備区分ごとの計算裕度を登録します。

＜申請書詳細 画面＞

■申請書詳細

1 ［計算裕度登録］をクリックし、
「計算裕度登録 画面」を表示

＜計算裕度登録 画面＞

■裕度選択

2 裕度（プルダウン）
設備区分ごとに0～20%の裕度を選択

■裕度登録

3 保存
内容を確認し、問題がなければ[保存]をクリック

登録が完了すると、「申請書詳細 画面」に戻ります。
「省エネルギー量計算(総括)」の「計画省エネルギー量(原油換算)」欄に、裕度が加味された省エネルギー量が表示されます。

これで、すべての必要情報の登録、及び省エネルギー量計算は完了です。

必要添付書類

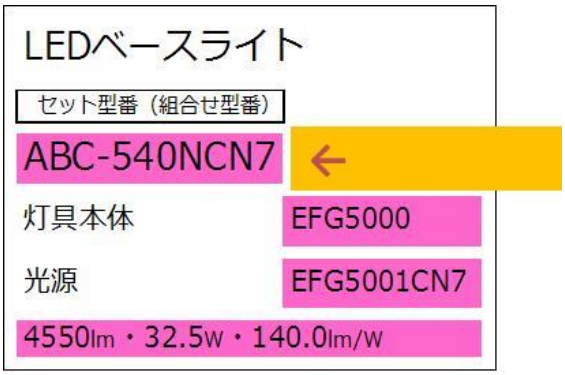
■必要添付書類

省エネルギー量計算の過程及び結果の証憑書類として、計算方法に応じて下表に示す証憑書類を提出してください。

No.	計算方法		提出が必要となる証憑書類	交付申請書類 （交付申請の手引きP.13～15参照）
	指定	独自		
1	○★	○	導入予定設備の仕様（種別、型番、定格消費電力、全光束）の根拠書類 • 型番マスタを使用して設備を登録した場合は、添付不要です。 • 型番マスタを使用せずに、設備を手入力した場合は、添付が必要です。 例）導入予定設備の製品カタログ 必要な能力値等を示せる資料（仕様書等） ※該当する箇所に蛍光マーカー等で印をつけ、転記した箇所が判るようにしてください。 ※カタログ・仕様書に、設備の仕様情報が不足している場合は、メーカー等に相談のうえ、必要情報の記載がある証憑書類を用意してください。	【添付10】 設備の製品カタログ/設備の仕様書
2		○	**エネルギー使用量の計算過程** 例）計算過程説明書（計算式含む）	【添付11】 省エネルギー量独自計算書
3		○	**エネルギー使用量の計算根拠** 例）製品カタログ 必要な能力値等を示せる資料（仕様書等） 既存設備の運転日報 エネルギー使用量計測値、請求書 **※ 計算に用いた性能値、実測値、稼働条件（時間 等）等の根拠書類を必ず添付してください。 型番マスタを使用して設備を登録した場合でも、添付が必要です。**	

★ 指定計算を選択した場合に添付する証憑書類は原則、導入予定設備分のみですが、既存設備分についても添付を求める場合がありますので、手元に保管をお願いします。

カタログ・仕様書の提出ついて



・参照した箇所に蛍光マーカー等で印をつけ、付箋を貼ってください。

・カタログ・仕様書に、設備の仕様情報が不足している場合は、メーカー等に相談のうえ、必要情報の記載がある証憑書類を用意してください。

＜参考＞ 高効率照明の計算式と使用データ

■高効率照明の指定計算の計算手順と計算式

高効率照明の指定計算については下記の考えに基づき、補助事業ポータルで計算を行っています。

凡　例

製品カタログ等から転記する値　　実績又は計画に基づき入力する値　　使用データや計算ロジックによって自動入力される値

1．既存設備のエネルギー使用量算出の計算

以下の情報を用いて、既存設備の電力使用量を求める。

既存設備 定格消費電力※ [W] × 稼働時間 [h] × 既存設備 台数 [台] × 単位変更 1/1,000 [W⇒kW] = 既存設備 消費電力量 [kWh/年]

※ポータルのプルダウンで選択できる種別、種類・灯数等から定格消費電力を推定。

既存設備 消費電力量 [kWh/年] × 単位変更 1/1,000 [kWh⇒千kWh] × 熱量換算係数 9.97 [GJ/千kWh] × 原油換算係数 0.0258 [kl/GJ] = 既存設備 原油換算使用量 [kl/年]

2．導入予定設備のエネルギー使用量算出の計算

以下の情報を用いて、導入予定設備の電力使用量を求める。

導入予定設備 定格消費電力 [W] × 稼働時間※ [h] × 導入予定設備 導入予定台数 [台] × 単位変更 1/1,000 [W⇒kW] = 導入予定設備 消費電力量 [kWh/年]

※導入予定設備の稼働時間は、既存設備の稼働時間と同じとする。

導入予定設備 消費電力量 [kWh/年] × 単位変更 1/1,000 [kWh⇒千kWh] × 熱量換算係数 9.97 [GJ/千kWh] × 原油換算係数 0.0258 [kl/GJ] = 導入予定設備 原油換算使用量 [kl/年]

3．省エネルギー量算出の計算

1.と2.の計算を既存・導入予定設備で実施し、各々の原油換算使用量を求める。
既存・導入予定設備の差分を省エネルギー量とする。

既存設備 原油換算使用量 [kl/年] － 導入予定設備 原油換算使用量 [kl/年] = 省エネルギー量 [kl/年]

＜参考＞ 高効率照明の計算式と使用データ

■使用データ１

指定計算で使用される既存設備の「定格消費電力」のデータは下表の通りです。

種別	種類・灯数等	定格消費電力
直管蛍光ランプ	直管蛍光ランプFHF16形　1灯用　・　高出力	26
	直管蛍光ランプFHF16形　2灯用　・　高出力	50
	直管蛍光ランプFHF32形　1灯用　・　高出力	48
	直管蛍光ランプFHF32形　1灯用　・　定格出力　又は　不明	35
	直管蛍光ランプFHF32形　2灯用　・　高出力	95
	直管蛍光ランプFHF32形　2灯用　・　定格出力　又は　不明	70
	直管蛍光ランプFHF32形　3灯用　・　高出力	143
	直管蛍光ランプFHF32形　3灯用　・　定格出力　又は　不明	105
	直管蛍光ランプFHF32形　4灯用　・　高出力	190
	直管蛍光ランプFHF32形　4灯用　・　定格出力　又は　不明	140
	直管蛍光ランプFHF32形　5灯用　・　高出力	238
	直管蛍光ランプFHF32形　5灯用　・　定格出力　又は　不明	175
	直管蛍光ランプFHF32形　6灯用　・　高出力	285
	直管蛍光ランプFHF32形　6灯用　・　定格出力　又は　不明	210
	直管蛍光ランプFHF63形　1灯用	64
	直管蛍光ランプFHF63形　2灯用	125
	直管蛍光ランプFHF86形　1灯用	87
	直管蛍光ランプFHF86形　2灯用	172
	直管蛍光ランプFHF86形　3灯用	259
	直管蛍光ランプFL20・FLR20形 1灯用	21
	直管蛍光ランプFL20・FLR20形 2灯用	41
	直管蛍光ランプFL20・FLR20形 3灯用	62
	直管蛍光ランプFL20・FLR20形 4灯用	82
	直管蛍光ランプFL20・FLR20形 5灯用	103
	直管蛍光ランプFL20・FLR20形 6灯用	123
	直管蛍光ランプFL40形 1灯用　・　磁気式安定器	42
	直管蛍光ランプFL40形 2灯用　・　磁気式安定器	83
	直管蛍光ランプFL40形 3灯用　・　磁気式安定器	125
	直管蛍光ランプFL40形 4灯用　・　磁気式安定器	166
	直管蛍光ランプFL40形 5灯用　・　磁気式安定器	208
	直管蛍光ランプFL40形 6灯用　・　磁気式安定器	249
	直管蛍光ランプFLR40形 1灯用　・　磁気式安定器	41
	直管蛍光ランプFLR40形 2灯用　・　磁気式安定器	78
	直管蛍光ランプFLR40形 3灯用　・　磁気式安定器	119
	直管蛍光ランプFLR40形 4灯用　・　磁気式安定器	156
	直管蛍光ランプFLR40形 5灯用　・　磁気式安定器	197
	直管蛍光ランプFLR40形 6灯用　・　磁気式安定器	234
	直管蛍光ランプFLR110形 1灯用　・　磁気式安定器	108
	直管蛍光ランプFLR110形 1灯用　・　電子安定器	94
	直管蛍光ランプFLR110形 2灯用　・　磁気式安定器	208
	直管蛍光ランプFLR110形 2灯用　・　電子安定器	187
	直管蛍光ランプFLR110形 3灯用　・　磁気式安定器	316
	直管蛍光ランプFLR110形 3灯用　・　電子安定器	281
環形蛍光ランプ	環形蛍光ランプFCL20形　1灯用	22
	環形蛍光ランプFCL30形　1灯用	31
	環形蛍光ランプFCL32形　1灯用	36
	環形蛍光ランプFCL40形　1灯用	47
	環形蛍光ランプFCL32形+30形	64
	環形蛍光ランプFCL40形+32形	80
	環形蛍光ランプFCL40形+32形+30形	108
	環形蛍光ランプFHC13形　1灯用	16
	環形蛍光ランプFHC20形　1灯用	27
	環形蛍光ランプFHC27形　1灯用	36
	環形蛍光ランプFHC34形+13形	59
	環形蛍光ランプFHC27形+20形	62
	環形蛍光ランプFHC34形+20形	70
	環形蛍光ランプFHC34形+27形	81
	環形蛍光ランプFHC34形+27形+20形	106
	環形蛍光ランプFHC41形+34形+27形	123
	環形蛍光ランプFHD40形　1灯用	36
	環形蛍光ランプFHD70形　1灯用	64
	環形蛍光ランプFHD85形　1灯用	76
	環形蛍光ランプFHD100形　1灯用	91
	環形蛍光ランプFHD100形+40形	120

＜参考＞ 高効率照明の計算式と使用データ

■使用データ２

種別	種類･灯数等	定格消費電力
コンパクト蛍光ランプ	コンパクト蛍光ランプFDL13形　1灯用	15
	コンパクト蛍光ランプFDL18形　1灯用	18
	コンパクト蛍光ランプFDL27形　1灯用	25
	コンパクト蛍光ランプFPL13･FML13形　1灯用	18
	コンパクト蛍光ランプFPL18･FML18形　1灯用	22
	コンパクト蛍光ランプFPL27形･FML27形 1灯用	24
	コンパクト蛍光ランプFPL36形･FML36形 1灯用	36
	コンパクト蛍光ランプFPL36形･FML36形 2灯用	70
	コンパクト蛍光ランプFPL36形 3灯用	106
	コンパクト蛍光ランプFPL36形 4灯用	140
	コンパクト蛍光ランプFPL55形 3灯用	159
	コンパクト蛍光ランプFPL55形 4灯用	210
	コンパクト蛍光ランプFHP23形 1灯用	26
	コンパクト蛍光ランプFHP23形 2灯用	49
	コンパクト蛍光ランプFHP32形 3灯用 ・ 省電力	93
	コンパクト蛍光ランプFHP32形 3灯用 ・ 定格出力　又は　不明	105
	コンパクト蛍光ランプFHP32形 4灯用 ・ 省電力	124
	コンパクト蛍光ランプFHP32形 4灯用 ・ 定格出力　又は　不明	138
	コンパクト蛍光ランプFHP45形 3灯用	141
	コンパクト蛍光ランプFHP45形 4灯用	188
	コンパクト蛍光ランプFHP105形　1灯用	92
	コンパクト蛍光ランプFHP105形　2灯用	218
コンパクト蛍光ランプ	コンパクト蛍光ランプFHT16形 1灯用	19
	コンパクト蛍光ランプFHT24形 1灯用	27
	コンパクト蛍光ランプFHT24形 2灯用	53
	コンパクト蛍光ランプFHT24形 3灯用	80
	コンパクト蛍光ランプFHT24形 4灯用	106
	コンパクト蛍光ランプFHT32形 1灯用	35
	コンパクト蛍光ランプFHT32形 2灯用	70
	コンパクト蛍光ランプFHT32形 3灯用	105
	コンパクト蛍光ランプFHT32形 4灯用	140
	コンパクト蛍光ランプFHT42形 1灯用	45
	コンパクト蛍光ランプFHT42形 2灯用	90
	コンパクト蛍光ランプFHT42形 3灯用	135
	コンパクト蛍光ランプFHT42形 4灯用	180
	コンパクト蛍光ランプFHT57形 1灯用	65
	コンパクト蛍光ランプFHT57形 2灯用	144
	コンパクト蛍光ランプFHT57形 3灯用	209
	コンパクト蛍光ランプFHT57形 4灯用	288
	コンパクト蛍光ランプFPL/HF32形 3灯用	103
	コンパクト蛍光ランプFPL/HF32形 4灯用	136
	コンパクト蛍光ランプFPL/HF45形 3灯用	141
	コンパクト蛍光ランプFPL/HF45形 4灯用	188
HIDランプ	HIDランプ高圧水銀ランプ 40形	52
	HIDランプ高圧水銀ランプ 80形	97
	HIDランプ高圧水銀ランプ 100形	115
	HIDランプ高圧水銀ランプ 200形	213
	HIDランプ高圧水銀ランプ 250形	260
	HIDランプ高圧水銀ランプ 300形	310
	HIDランプ高圧水銀ランプ 400形	415
	HIDランプ高圧水銀ランプ 700形	730
	HIDランプ高圧水銀ランプ 1000形	1030
	HIDランプメタルハライドランプ 100形	114
	HIDランプメタルハライドランプ 200形	215
	HIDランプメタルハライドランプ 250形	260
	HIDランプメタルハライドランプ 300形	310
	HIDランプメタルハライドランプ 400形	415
	HIDランプメタルハライドランプ 700形	730
	HIDランプメタルハライドランプ 1000形	1030

＜参考＞ 高効率照明の計算式と使用データ

■使用データ３

種別	種類･灯数等	定格消費電力
HIDランプ	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 35形	46
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 70形	86
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 150形 ・ 磁気式安定器	165
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 150形 ・ 電子安定器	169
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 180形	205
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 190形	210
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 220形	240
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 230形	250
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 270形	292
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 290形	307
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 360形	390
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 100形	110
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 40形	52
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 75形	94
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 110形	125
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 180形	198
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 220形	238
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 270形	288
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 360形	384
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 660形	700
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 940形	990
	HIDランプバラストレス水銀ランプ 100形	100
	HIDランプバラストレス水銀ランプ 160形	160
	HIDランプバラストレス水銀ランプ 250形	250
	HIDランプバラストレス水銀ランプ 300形	300
	HIDランプバラストレス水銀ランプ 500形	500
	HIDランプバラストレス水銀ランプ 750形	750
電球形蛍光ランプ	電球形蛍光ランプEFA10･EFD10形	7
	電球形蛍光ランプEFA15･EFD15形	10
	電球形蛍光ランプEFA25･EFD25形	20
クリプトン電球	クリプトン電球40形	36
	クリプトン電球60形	54
	クリプトン電球100形	90
白熱電球	白熱電球40形	36
	白熱電球60形	54
	白熱電球100形	90
ハロゲン電球_JD110V	ハロゲン電球_JD110V60W	55
	ハロゲン電球_JD110V65W	65
	ハロゲン電球_JD110V85W	85
	ハロゲン電球_JD110V90W	90
	ハロゲン電球_JD110V130W	130
	ハロゲン電球_JD110V200W	200
	ハロゲン電球_JD110V250W	250
	ハロゲン電球_JD110V500W	500

＜参考＞ 高効率照明の計算式と使用データ

■光源色の区分と相関色温度(K)の分類

カタログに光源色の記載が無い場合は、相関色温度（Ｋ ケルビン）の値から光源色の区分を確認してください。

光源色の区分	相関色温度（Ｋ）
昼光色	５，７００ ～ ７，１００
昼白色	４，６００ ～ ５，５００
白 色	３，８００ ～ ４，５００
温白色	３，２５０ ～ ３，８００
電球色	２，６００ ～ ３，２５０

お問い合わせ・相談・連絡窓口

一般社団法人環境共創イニシアチブ

省エネルギー投資促進に向けた支援補助金

（エネルギー使用合理化等事業者支援事業）

Ⅱ設備単位

補助金申請に関するお問い合わせ窓口

TEL：0570－055－122 （ナビダイヤル）

※ IP電話からのお問い合わせ　TEL：042－303－4185

受付時間：平日の10:00～12:00、13:00～17:00

（土曜、日曜、祝日を除く）

通話料がかかりますのでご注意ください。

SIIホームページ　https://sii.or.jp/